

高木復興大臣福島

12 市町村の将来像に関する有識者検討会ぶら下がり会見録

(平成28年5月28日(土) 11:35~11:44 於) 福島県福島市)

1. 発言要旨

今回の検討会では、このたび取りまとめました2020年までのロードマップを報告させていただきまして、将来像の主要個別項目の実現に向けて、委員の皆さんから御助言を頂いたところがございます。イノベーション・コースト構想、あるいはまた医療、子供、教育、農業、多岐にわたって人材育成等々、多岐にわたって御意見を頂いたところがございます。

このロードマップの取りまとめを受けまして、その内容について、どのように具体化し、また実現させていくかが重要と考えております。将来像の提言の実現に向けて、有識者検討会における助言等も踏まえて、引き続き関係省庁、県、市町村、民間と連携して取り組むとともに、今後とも進捗管理のためのフォローアップを行っていききたいと考えております。私からは以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今日さまざまな意見が出たということですが、特に集中したものはありましたか。

(答) 教育ということは随分御意見出ていたというふうに思います。小学校、あるいはまた中学校、非常に子供の数が減って厳しい、真に生きる力、どうやって醸成していくかなどという声もございました。あるいはまた高等教育においても、しっかりとやっていく人材の育成というようなことが出ておりました。

あとは、イノベーション・コースト構想、しっかりと進めていく必要がある。ロボット等、大変可能性のある事業であるので、しっかりとやっていく必要があるという、そんなようなことだったかと思えます。

(問) 今日、ロードマップが初めて示されたわけですが、確認されたということですが、これは決定でよろしいのでしょうか。

(答) そうということでございます。

(問) 先ほど内堀知事の方から、国の責務でやはり、何と言っても予算をお願いしたいというお話があったと思います。実現していくには、復興庁が絡むのもありますけれども、政府として、この12市町村の具体化に向けて、今後予算を確保をしていく、予算要求をしっかりとしていくと、そういう決意ということよろしいのでしょうか。

(答) はい、もちろんそうであります。ロードマップができました。

いよいよこれを、これから実現させていくということが大変重要でございます。当然、予算というものが問題にもなってまいりますので、しっかりと復興庁として予算の確保も含めて、このロードマップの実現に向けて、取り組んでいくということでございます。

(問) もう一点だけ、すみません。その上で、先ほど、今後フォローアップしていくということですが、2020年のこのロードマップが一つの区切りとも思うのですが、今後については、進捗状況をフォローアップで見ていくのか、それとも何かまた新しいフェーズに移るのか、伺えますか。

(答) これが将来像に対するロードマップでございますので、これをベースにして考えていくということでございます。

あわせて、足元、もちろんたくさんの方の施策をしなければなりませんので、足元のことをしっかりやっていく。あわせて将来像に向けたロードマップを実現化させていくという、こういうことだというふうに思います。

(問) すみません、そうすると、今後のこの会議の役割って、どのようになっているのでしょうか。

(答) もちろん、今日、私が最後に申し上げましたように、これからも引き続き委員の皆様方の御協力を賜りたいということ。あわせて、フォローアップを引き続きやっていくということでございます。

(問) この工程を管理していくというか、後押ししていくというような感じなんでしょうか。

(答) そういうことでございます。今後の進め方ということかと思えますけれども、今後その内容につきまして、どのように具体化して、また実現させていくかが重要だと考えておりました、その実現に向けまして、有識者検討会における助言なども踏まえて、引き続き関係省庁、県、市町村、民間とも連携をしながら取り組むとともに、あるいは必要に応じてフォローアップを行っていくということでございます。

(問) 今日、いろんなことが出ていると思うんですが、大臣の中でピンポイントというかですね、これはもう是非という意見があって、それにお応えしていきたいというものがありましたら、一つ、二つ紹介してください。

(答) 冒頭にも申し上げましたけれども、やはり教育、人材育成ということが大変大事だというふうに思いました。人がキーワードかなともいうふうに思います。

一つには、もちろん帰っていただいて、そうした方たちがしっかりと復興を成し遂げていくということが大事ですし、あるいは人

が人を呼ぶというような表現もございましたけれども、この核となる人に来ていただいて、その人を慕ってまた人が集まってくるというような御意見もございました。一言で言うと本当に、その人、あるいは人材、そうしたようなことが大変重要であるということを感じました。

(以 上)